

## 第 47 回邦人医療支援ネットワーク(ジャムズネット)定例会議

### 47th JAMSNET Quarterly Meeting

#### 議事録

日時：2017年11月17日(金曜日) 16時～18時

会場：ニューヨーク総領事館 299 Park Avenue, 19th Fl. New York, NY 10171

司会：本間

書記：YM Network (窪田)

#### 1. 冒頭挨拶

- 1) 本間代表から JAMSNET の世界会議が東京で来週予定されている。JAMSNET のように外務省と関係している団体は他にないので JAMSNET の存在は意味があると思っている。日本医師会も興味を示している。今後オーストラリア支部の設立を検討していく。  
日本医師会と関係について。今後も連携をとって関係を継続させていき、様々な面で協力しあえるように発展させていきたい。
- 2) 石塚領事部長から  
サンクスギビングホリデーということでのテロなどに関して注意喚起。領事館からも在留邦人の皆様にも喚起のメールを出す予定。  
安全対策協議会開催予定。加納さんも参加していただける予定。HP などで結果のシェア予定。

#### 2. ジャムズネットの活動報告

- 1) 事務業務の引継ぎ・分担について (本間, 加納, 坂神)  
田代さんが退かれてから、坂神さん、加納さん、バーンズさんで行っている。事務担当者を現在探している。業務内容に関して加納さん、坂神さんが説明できるので、該当する人がいたら紹介してもらいたい。(HP アップデートなども業務内容に含まれる)
- 2) 秋のヘルスフェア結果報告 (野田 (欠席))  
参加者：1900名ほど。成功したという報告。JAA とジャムズネットが共催しているフェア。今後も継続。
- 3) 今年度 JCOP について (本間, 坂神)  
JCOP=Japanese Community Outreach Program。邦人対象に地域活動をしている団体のサポートとして出されている米国日本人医師会によるグラント。今年の結果は個々の団体に連絡済み。12月15日の医師会のクリスマスパーティーの中で授章式を行う。受賞団体から代表者1名が参加することになっている。
- 4) 2017年 JAMSNET World 講演会 (本間)  
日時：11月26日(日)@東京大学ダイワユビキタス学術研究館  
テーマ「世界の医療制度、その光と影、邦人の視点から」  
後援：外務省、日本医師会、日本渡航学会、NPO 国際人をめざす会  
● 本間先生の講演「米国での医療保障制度について」  
4回目のジャムズネットワールド開催。第1回はニューヨークで。5つのジャムズネット関連の団体が世界にある。それぞれのジャムズネットが外務省・領事館と関係を保ちながら、世界の邦人への協力などを行なっている。世界のジャムズネットのネットワークが情報交換の場となっている。発達した情報網になっていて、年々広がりつつある。
- 5) Global Health 合同大会 2017  
日時：11月24日(金)～26日(日)@東京大学本郷キャンパス内  
テーマ「思いは1つ 健康格差の改善」  
● 本間先生の講演：“Healthcare financing in USA” “Social and medical support network formation for Japanese abroad by JAMSNET world”  
ジャムズネットの話などもする予定。ジャムズネットの宣伝にもなると考えている。  
向井千秋さんなども講演予定。JAMSNET 東京にインターネット参加が可能かどうか問い合わせたが、会場設定の変更はすでにできないということで、難しいという連絡が来た。録画はウェブにアップデ

ート予定なので、そちらを見て頂きたい。  
ニューヨークでも同じ内容で本間先生に講演をお願いしたい。

- 6) JAMSNET 東京による被災地支援事業の報告 (本間、加納)  
割愛
- 7) WIT の震災支援プログラム: JAMSNET との連携 (坂神)  
8月の理事会にWITのディレクター山本さんが来られた。WITは東日本大震災後に作られた団体や地域活動を支援する団体。JAMSNET 東京 (仲本先生) にWITをすでに紹介済み。今後はWIT次第でジャムズネット東京とのコラボレーションも期待できる。
- 8) Mental Health Group 遠方支援の報告 (バーンズ他)  
MH ネットワークはジャムズネットのサブグループ。東北の遠方支援を継続して行なっている。  
2月にバーンズさんが相馬市、新地町、新地高校を訪問。青木さんが仙台の名取市の尚綱学院大学を訪問し、トレーニングを行なった。10月に鈴木さんとバーンズさんでいわき市その他を訪問。須賀川の養護学校、福島市で福島県教育庁、いわき市の教育委員会などを訪問。今回は6年前に訪問した四倉幼稚園の元園長先生のその後のフォローアップ訪問も行い、フォローアップが大切なことを再確認する。メンタルヘルスネットワークで報告会予定。  
福島県ではまだ放射線の危険などがあるため、放射線に関する健康管理や教育が行われている。健康に関する啓蒙が行われている (健康手帳がある)。「福島から始めよう」というスローガンで、健康手帳を全国に広めるといことも行おうとしている。  
発達障害がある子供がいても、どうしていいかわからない。先生の不安はそこにあり、その不安への働きかけとして、ワークショップなどをMH ネットワークから提供している。
- 9) 会計報告 (加納)  
11月10日、2016年のジャムズネットのファイナンシャルリポート (会計報告) を連邦政府とNY州へ納めた。監査を受け、良いフィードバックをもらった。  
46,000ドル残金。35,000支出  
12万ドル総支出入。  
次年度のジャムズネットワールドはニューヨークで予定している。

### 3. その他

- 1) 領事館を使用する場合のルール (桐畑、坂神) 再確認、注意喚起。
  - 準備と終了後の片づけ、出欠席の連絡は原則1週間前まで
  - 出席が未定の場合でも、登録していただいた方がよい。欠席は構わないが、急な登録を回避できるように、出欠は早め、未定なら出席で報告。
  - 遅刻の場合、ビルに入りにくくなるので、前もって連絡必要。
  - 場所が特定される写真は厳禁。
- 2) Heart to Heart : 退会とする
- 3) 企画書承認 : 日米ケア九州震災支援  
日米ケアは九州の震災支援に力を入れており、その支援金の依頼があり、ジャムズネットから承認された。金額 : 350ドル。
- 4) グループ報告 :
  - a. SUJATA/YM Medical Network : 来年は色々報告できるように活動を行なっていきたい。Kotaro Barnes Award の募集なども本間代表・バーンズさんから話された。
  - b. 教育相談室 Japan Education Center: JCOP を今年も受賞し、感謝している。Evidence-based に基づいた臨床活動の重要性が特にアメリカでは重視されているが、教育相談室でもその方針で行っている。独自に在米邦人中高生の心理的健康と適応度を調べるリサーチも行なっているので、JCOP からの支援は大変助かっている。リサーチで得た結果は日々の臨床活動に役立てる他、講演会や出版物を通して保護者への啓蒙をしたり、心理学会などで日米の専門家に邦人児童の心理的ニーズについて理解を深めてもらうことに役立っている。
  - c. NY 邦人メンタルヘルスネットワーク : 12月10日にJAAでcontinuing education, skill up workshop を開催予定。今回は第3回目。プレイセラピーのワークショップを行う予定。今回はNew Jersey City Universityで教鞭を取り、日本人では初めてPlay therapy 協会認定のスーパーバイザーの資格を持つ小川裕美子氏が講師を努める。メンタルヘルスネットワークメンバーでなくても日米で心理臨床活動ができる資格がある方、あるいはスーパービジョンを受けているTraineeであれば参加できるので、そのような方をご存知であれば是非ご紹介ください。
  - d. 日米ソーシャルサービス : 特に報告はなし。アフオーダブルケアの相談は随時受け付けている。

- e. フィラデルフィア日本人会：イベント：8月に盆踊り実施。今年で2回目。前年度より盛況であった。国際色豊かで、グローバルな会となった。ファンディング：落語を行なった。7ヶ国語で落語ができる方にいただいた。認知症サポートイベント：前回より参加者増加。周知度が上がってきている。次回は日本語だけではなく英語でも実施したいと検討中。場所も確保できたので、今後実施しやすくなると思われる。継続予定。JCOPからの支援が大変助かっている。来年度のJCOPも受賞し感謝している。問題：会員の減少に伴う財政難、会員の高齢化。理事も減少。会員主体にした運営に移行していこうと検討中。総会で現状報告をし、会員からの意見や提案を聞き、今後の方向性を決めようと動いている。理事候補者も有り、解散には多くが反対。会員のニーズを確認中。次回には報告ができると思われる。補習校コミュニティと日本人会コミュニティの2つに分かれる。
- f. JB ライン：24時間ホットラインがあり、電話対応している。ボストン、ニューイングランド地域からが多いが、他州からも入電ある。10月に日本語学校でハーグ条約の講演会を行なった。定期的に行うニーズを感じたので、継続予定。認知症サポートセミナー開催予定。
- g. NY デボランティア：JCOP 受賞。スパデー開催。アメリカの子供達への日本の文化紹介を継続して行なっている。今年の活動は終了している。来年も継続予定。
- h. JACNET：報告はなし。アートセラピストの高田さんと協力して色々活動している。家族の問題がやはり多く出てくるので、セラピーの形態に関わらず、他の方達と連携取りながら、広い範囲で支援活動していきたい。
- i. SHARE：秋のヘルスフェア参加。医師会から植村先生に協力いただき、緩和ケア講演。乳がん患者さんのサバイバーの方にセミナーを行なってもらった。日本から訪問されていたこれらの乳がんサバイバーの方達が、大きなファンディングイベントに参加され、皆良い体験をして帰国された。来年、春のサクラヘルスフェアでピンクアンドティールセミナーを開催予定。医療の違い、日米の価値観の違いなどについてセミナーを行っている。今後SHAREで日本語を話す職員を雇用してもらおう方向で動きたいと検討している。月2回のサポートミーティングしている。ヘルプラインもある。多くの種類のガンの患者さんに対応している。
- j. HEIAN：秋のヘルスフェアで7つの講演を行った。岡田先生の講演は大盛況であった。ジャムズネットからの支援があったからこそ開催できた。今年もJCOPを頂き心から感謝している。来年は岡田先生の講演をウェストチェスターなどNY郊外でも開催できればと思う。彼は非常に柔軟なプログラム作りをして下さるので、他の団体の方でご希望があれば是非HEIANまでお知らせ下さい。今後の活動に関して：1月から3月まで定例会は高齢者にとって厳しい足元になる為冬眠。4月から元気にHappinessをテーマに活動再開予定。笑いや感動を通じてのHappinessを高齢者のみならず幅広い年齢層で共有して行きたいと思う。
- k. 日米カウンセリングセンター：特に変化なく活動中。各種保険を受け付けているので、ご紹介ください。ファンディングを行い、多くのサポートを頂き、感謝している。JCOPも受賞し、感謝しているとの報告。
- l. アップルタイム：JCOPを受賞し、活動を継続できる感謝を報告。会員数も増加中。ヘルスフェアでは加納先生に来て頂き、予防接種について講演していただいた。バザーを行い、福島などへ支援していた。NPOになったことで、保険に入ろうと検討している。さらに保険に関して情報が欲しい。  
ライアビリティインシュアランスに関して：（加納さん）イベントなどだけにかけることができる保険もある。アンブレラ保険も交渉中。ジャムズネットの保険にサブでアップルタイムのような団体が入ることが可能かどうかを交渉中。現在研究中。
- m. アピチャ：一般のコミュニティヘルスセンター。特にHIVの方へのサービスを提供している。全体の患者は多く、日本人のHIVの方は中国人に続き2番目に多く、約20名ほどいらっしゃる。HIVの患者さんの保険・医療のサポートを行っている。コミュニティヘルスセンターなのでスライディングスケールで診察できるので、HIVではなくても来ていただける。